

令和7年度は、これまで積み上げてきた成果に加え、新たな挑戦にも積極的に取り組み、菊川市をさらなる成長につなげるため、6つの基本方針に基づき、市政運営に取り組んでまいります。ここでは、菊川市議会2月定例会で長谷川寛彦市長が述べた令和7年度施政方針の概要を紹介します。

問い合わせ 企画政策課企画係(☎35-0900)

令和7年度 施政方針

人口課題

「緩和」と「適応」

人口課題は将来の菊川市の維持・活力に直結する重要な課題と考えています。この課題に對して、人口減少の急激な進行を可能な限り抑える「緩和策」に取り組みつつ、人口が減っても持続可能なまちづくりを進める「適応策」の取り組みを同時に実施していくことで、市外から人が集まり、市外から菊川市へ帰ってきたい、市内の人も住み続けたいまちを実現し、「さらに前へ！住みたいまち菊川市！！」を目指してまいります。

人口課題に對し、これまで多くの人に菊川市を知ってもらう情報発信の強化のほか、移住・定住の促進や、切れ目のない子育て支援を進めてきました。令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所が発表した将来推計人口からみた、菊川市の2060年の総人口は、10年前に公表された数値から人口減少がおよそ7千人改善される結果につながりました。国や県と比較しても、菊川市の減少率は大きく改善され、大幅に人口減少を緩和する成果をあげることができました。

健康寿命の延伸

令和6年9月に静岡県が公表した「お達者年齢」は、菊川市の男性が県内35市町中トップとなり、3年連続で県下1位となりました。女性においても前回より順位を大幅に上げる結果となりました。さらに、令和6年12月に公表された都道府県別健康寿命においては、静岡県が男女とも全国1位となったことから、菊川市は全国トップクラスの健康なまちであると言えます。これらの結果は、過去からの健康的な食事、運動、社会参加の積み重ねによるものであるため、この「食事」「運動」「社会参加」の3つをキーワードとして健康寿命の延伸を進めてまいります。

行政は最大のサービス業

これからの時代はますます予測困難な変化への対応が求められていることから、これまでの成果に加え、新しい視点で課題解決に立ち向かうことが大切です。そのために、まず私をはじめ職員一同が「行政は最大のサービス業」の最前線として、今後とも接遇サービスの向

上へ積極的に取り組むとともに、職員全体で市民・事業者目線のサービス意識や最高のおもてなしの精神を育むことで、菊川市に関わる皆さまから信頼される市役所を目指していきます。そうした信頼のうえに、市民や事業者の皆さまと私たち行政は協力し、これまで以上の「絆」を創っていくとともに、常識に縛られず、新たな答えを見つけることで、「人生100年時代」、高齢者から若者まで誰もが幸せを実感できる住みたい住み続けたいまちとなるよう、「積み上げた成果と新たな挑戦で絆ぐ第一歩」を踏み出してまいります。

飛翔

菊川市長 長谷川寛彦

※施政方針の全文は、市ホームページ(下記)からご覧いただけます。

